

2022年夏～野原くんキャンプ開催における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン

【開催判断】

・開催の場合、以下の点に留意する

- ①国や福島県からの緊急事態宣言、自粛要請が出されていないか
- ②開催地域の最新の感染状況
- ③外部施設等の対応状況

※それぞれの対応状況の活動自粛の範囲を超えないように注意する

【開催前の対応】

- ・ **7月8日から毎日の検温実施と記録。健康観察。＝参加する本人＋家族全員をお願いします。お子さんの検温記録表は、初日受付時に提出ください。**
- ・ 併せて家族の風邪症状の有無や、家族や本人に風邪症状があった場合は医師からの診断やキャンプへの参加にアドバイスを貰う。事務局へ連絡を入れること。
- ・ **スタッフも同様～体調管理を徹底する。体温の記録必須。**

▶参加者について

- ・参加当日、または前日などに発熱等の体調不良が見られた場合、参加を見送ってもらう。
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる人がいる場合は参加を見送ってもらう。
- ・マスクを必ず着用して参加日来る事。期間中のマスクを持参する。

【開催中の注意点】

- ▶運営側の対応・「三つの密」(密閉、密集、密接)を避ける環境を作る。
 - 手指のアルコール消毒をいつでもできるように準備する。
 - 食事は隣と1m空ける。斜向かいに座る(向かい合わない)
 - 部屋に入る人数を4人までとする。
 - 換気を常に行う。
 - 部屋で荷物が混ざらないように個人でしっかり管理できるように工夫する。
 - 入浴で使ったタオルは毎日洗濯する。
 - 毎日着替えをする。チェックする。
 - 毎朝、毎夕の検温を実施する。
 - 就寝前にマスクを回収し、ビニール袋に入れて処理する。
 - 食事時のマスクの扱いは、個人のマスク入れを用意し、マスク入れに入れる。
ご馳走様の祭にマスク入れを回収し、アルコール消毒を徹底する。
 - 使う資材、遊び道具等はすべて洗浄・消毒を行う。

全項目スタッフも同様実施。

・運営スタッフはマスクを着用のうえ、参加者とはでき得る範囲で一定の距離を保つよう心がける。

【開催後の注意点】

- ・使用した資材、遊び道具は速やかに洗浄・消毒をする
- ・トイレ等、使用した施設の消毒を速やかに行う
- ・開催後、万が一、参加者の感染が確認された場合、必ず主催者に連絡を入れるよう参加者に呼びかける。
- ・ **プログラム終了後2週間目「8月8日(月)」に健康状態を事務局から連絡を入れる。**

【緊急時(感染が疑われる症状が出た場合)の対応】

①開催中、参加者に感染が疑われる症状が出た場合

- ・対象者は別場所へ隔離し、最寄の保健所に連絡して指示を仰ぐ
- ・対象者への対応はスタッフ1名がマスク、フェイスシールド、手袋着用の上で行う
- ・開催中の活動は中止とする
- ・対応したスタッフは自宅待機をして経過を観察する

②開催後、参加者の感染が判明した場合

- ・最寄の保健所に連絡して指示を仰ぐ
- ・対応したスタッフは自宅待機をして経過観察をする
- ・他の参加者へ連絡する

◎ 首都圏スタッフについて

- 1, 事前にPCR検査をします。全員検査にパスする事が開催の条件です。
- 2, スタッフも毎日の検温チェック、体調管理をしっかり行います。
- 3, 移動について、ワンボックスカーをレンタカー借用し、鮫川村に開催前日に直行します。出来るだけのリスクを下げる努力を致します。日頃から行動には細心の配慮をしております。ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。